

活動報告

女性セミナー

○津軽三味線鑑賞会を合同で開催

9月21日、交流館大研修室で、いきいきカレッジと合同学習として「津軽三味線鑑賞会」を開催しました。演奏者は高田徳子さんと3人の生徒さん。企画しながらもコロナ感染の収束がつかず、3年間も待った学習でした。受講生以外にも声かけて、多くの参加者がありました。津軽三味線の生の演奏に喜びの声があり、一緒に歌おうコーナーでは懐かしい演歌や童謡など、親しみのある曲を三味線の伴奏で歌うことができました。



○デザイン書道を楽しむ

9月26日、伊達市在住の岸田恵泉さんを講師に「デザイン書道」に挑戦しました。最初に先生から「お手本なしの自由な世界、失敗も活かせる」と説明あり、筆の使い方を学び、次に先生が書かれた、花・風・笑・楽・道・雨・夢の文字で、その文字のイメージを活かす書き方を学びました。受講生は、初め書道に抵抗があったものの、花のイメージや、夢を描くような



文字の形に面白さを感じたようです。先生から一人ひとりに書いていただいたので、文化祭の作品として書けたらいいね！と好評でした。

○合同で移動学習「会津三観音（中田観音）と会津名所巡りの旅」

10月18日、いきいきカレッジと合同で、会津方面名所巡りのバスの旅を20人参加で学びました。秋晴れの爽やかな日で、景色も最高！会津三十三観音第三十番札所の中田観音を参拝し、本郷流紋焼き窯元、武家屋敷で昼食後、屋敷内見学。磐梯町の慧日寺跡や資料館・中門・金堂などを回りました。歴史や信仰、先人の想いも感じた1日でした。



いきいきカレッジ

○小学生とグラウンドゴルフを楽しみました！

8月18日、いきいきカレッジ受講生と3長寿会の方々にご協力を依頼し、児童クラブの子どもたちとグラウンドゴルフを楽しみました。

始め「ノリ」が悪かった小学生たちは、競技を進める中で楽しんできて、「もっとやりたい！」と目を輝かせていました。

今年の夏はとても暑い日が続いて、当日も炎天下なので1ゲームのみ、コースも縮小して行いました。ホールポストを狙って楽しくゲームをしました。

【地域の話】

堰本地区大運動会は計画するも開催ならず

堰本小学校の運動会を開催

10月16日、堰本小学校校庭で堰本小学校（地区）運動会が開催されました。当初、地区体育協会は10月8日に4年ぶりの地区運動会を開催予定でしたが、小学校児童のインフルエンザ感染で学年閉鎖があり、翌週の15日に延期になりましたが、雨のため翌日になってしまいましたが、16日は快晴で、児童たちの歓声が校庭に響き渡りました。



「さとづくり」今後の予定

秋の美化運動

実施日

11月19日（日）
9時から（小雨決行）

資源回収

実施予定日

12月3日（日）
ご協力お願いします。

☆編集後記☆

暑かった今年の夏も10月に入りわずか半月で朝晩が寒く感じられるようになりました。

5月にコロナ感染症が5類扱いになり、各地で催しが再開し始めました。コロナと同時にインフルエンザも時期に関係なく感染拡大し、感染症に対してまだまだ予断が許せません。

9月によくやく敬老会開催の運びとなり、無事終えることができました。関係された皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

忘れ物が何件かあり、「ああ、敬老会だなあ」と感じたのは私だけ？

人と地域を育む愛宕の里 せきもと

令和5年秋号 (No.18)

里づくりせきもと



発行：せきもとさとづくり推進協議会

4年ぶり堰本地区敬老会を開催

主催：せきもとさとづくり推進協議会、堰本社会福祉協議会

9月17日、堰本地区敬老会を堰本小学校体育館で4年ぶりに開催しました。以前は堰本婦人会と堰本社会福祉協議会の共催で開催していましたが、婦人会の解散、コロナウイルス感染症の影響があり、今年度ようやく開催の運びとなりました。

せきもとさとづくり推進協議会、堰本社会福祉協議会が主催しました。地区内の75歳以上の高齢者等約110人が出席しました。冒頭に、澁谷基昌実行委員長があいさつし、3人の方から祝辞をいただきました。敬老者代表して、堀江泰幹細谷シニアクラブ会長が感謝の言葉を述べました。



ご祝辞をいただいた来賓の方々

向かって左から
市長代理：遠藤梁川総合支所長様
社会福祉協議会会長代理：安田事務局長様
五十嵐堰本小学校長様



アトラクションに地元出身（荒野町内会）の歌手・新田晃也さんの歌謡ショーを行いました。自身の曲「もの忘れ」など、また本県ゆかりの音楽家などの楽曲を披露し、最後に歌謡浪曲「俵星玄蕃」を朗々と歌い拍手喝采を浴びました。



★今回の敬老会に出席した方々には敬老祝い品が贈られました。お元気に催しに参加できるのは、喜ばしいことです。

司会は、菅野幸子事務局長が担当しました。



橋内武堰本社会福祉協議会会長が閉会のことを述べました。

新田さんはステージから降りて、出席者と会話、握手をしながら交流もしました。

「第9回堰本地区文化祭」開催のお知らせ

4年ぶりに堰本地区文化祭を開催します。地域の皆様の丹精込めて作成された作品等を出展いただき、盛会に開催したいと存じます。

☆開催案内

11月25日（土）9時～16時
26日（日）9時～15時

堰本地区交流館全館

展示作品募集について

作品の受け付けなど、詳細は10月22日の実行委員会決定し募集案内をします。

堰本地区防災訓練の実施

体験中の一コマ



10月17日、堰本地区自主防災会防災訓練実施要領に基づいて、防災訓練を行いました。訓練は「線状降水帯発生等による集中豪雨で広瀬川、伝樋川などの河川氾濫の想定」で行われました。
地震体験車では震度7までを体験し、煙の中の脱出訓練、消化訓練も行いました。

地域の活動 (団体紹介)

志の教育



佐藤芳博さん
堰本地区青少年育成推進協議会会長

大人は、子どもたちの将来に向けて「夢や希望を持って」とか「志や目標を掛け」などとよく励まします。この場合、夢と志の意味は同じように用いられますが、実は大きな相違があることに気づきました。

「夢」は、もともと睡眠中に見る夢であり、実現可能なものも指しています。夢は、思いつきや誇大な理想的な要素も含まれています。「夢のような話」「夢、幻のようだ」などと言います。これに対して、「志」は士(之)と心合わせた字であり、「心がある目的を指していること」を表しています。従って「考え抜いた信念」のことです。また、「夢」は私的で口マンチックな淡い感じのものです。「志」は利他性が強く、人々や社会のために役に立つという公的なニュアンスを含んでいます。先人の名言には、吉田松陰は「志を立てて以て万事の源と為す」「志定まれば気盛んなり」、クラーク氏は、「少年

よ、大志を抱け」、ゲーテ氏は「大切なことは、大志を抱け、それを成し遂げる技能と忍耐をもつことである」などがあります。
今こそ「志の教育」が求められているのではないのでしょうか。
「夢を志に高め、努力しよう。懸命に努力して志を実現しよう。たとえ、十分に達成できなくても長い人生において無駄な努力は何一つなく、その経験は素晴らしい価値として輝き、後に生きて糧となるのだ」と言いたいものです。
「地域の子どもは、地域の大人で見守り育てよう」を合言葉に取り組んでいきましょう。

今年度の主な事業計画は次のとおり実施します。

- 「大人が変われば子どもも変わる」運動の推進
- 「伊達っ子の誓い」取り組み促進
- 「自立し共に生きる子ども」を育成するために、堰本地区の皆さんで一声『あいさつ運動』の輪を広げよう（いつでも どこでも だれとでも 明るいあいさつを）
- 地域の皆さんと児童のふれあい活動
- 地域の名人と児童のふれあい活動
- 「子ども100番の家」の確認と啓蒙活動

地域の方々紹介

伊達地区英語弁論大会で最優勝賞



小賀坂有珠さん
中学3年生・東木町内会

私は、8月24日、伊達地区中学校英語弁論大会に出場し、最優秀賞をいただくことができました。今回は、近日ニュース等でもよく話題となっている、放射性廃棄物の海洋放出について、自分の考えを英語で発表しました。夏休み中、大会に向けて毎日練習をしました。その練習のなかで特に私が苦労したこと、は、暗記です。専門的で難しい単語も多かったのですが、本番は5分間のスピーチを台本を見ずに話さなければならなかったのです。何度も何度も繰り返し練習しました。大会当日、私は創作の部トップバッターで不安もありましたが、最後まで自分らしくやり切れました。最後の大会というプレッシャーに負けず、3年連続優勝を達成することができてとても嬉しかったです。

また、9月14日の県大会では、同じ内容のスピーチにさらに磨きをかけて発表しました。地区大会後、特に細かい部分の発音の修正を重点的に練習しました。いざステージに立つと、会場全体がよく見え、多くの人が私の考えや、想いに耳を傾けてくれていた感じが感じられました。もちろん地区大会より緊張はありましたが、それ以上にスピーチを楽しめたし、関わってくださった方々への感謝の気持ちをもって、ステージに立つことが何より良かったと思います。昨年は5位だったため、今年は上位入賞をめざし、さらに上の大会に出場することを目標にしました。結果は6位入賞でしたが、少し悔しかったです。自分のベストは尽くせたと思います。

私は英語弁論に挑戦して、多くの人の前で英語で自分の思いを伝えるという、とても貴重な体験ができたなと感じました。英語の技術だけでなく自分の考え方や伝えたい想いに向き合ったり、聞いている人の心に届く伝え方を試行錯誤したりしたこと、様々な面で成長できたと思います。これからも「何事も挑戦」というチャレンジ精神をもち、様々な活動に積極的に取り組んでいきたいです。